

岡山県インドネシアビジネスサポートデスク 2011年8月1日開設

★インドネシアサポートデスクよりご挨拶★

はじめまして。このたび、岡山県インドネシアビジネスサポートデスクを担当させていただくことになりましたPT. JCの武井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

弊社は、企業様の様々なご要望に対応できるようインドネシアの首都であるジャカルタのヘッドオフィスの他、第2の都市であるスラバヤ、文化・学園都市であるジョクジャカルタに事務所を配置しております。

また、日本では、社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会（JIAEC）岡山支局を窓口とさせていただいておりますので、インドネシアでのビジネスに関する事についてはお気軽にご相談ください。



事務所前にて（左から、インドラ、武井）

★インドネシアについて★

インドネシアは、北緯6度から南緯11度、東経95度から141度に位置し、経済の中心であるジャワ島、観光で有名なバリ島をはじめとした18,000の島々から成る世界最大の群島国家です。気候は、日本のような季節の変化はなく、乾期（4月頃～10月頃）と雨期（11月頃～3月頃）に分かれます。赤道直下の国と聞くと非常に暑い印象がありますが、平均気温は海岸部で28度、内陸部で26度といわれ、緑も多いので日本の夏のようにジメジメせず、過ごしやすい気候です。

インドネシアのGDP成長率は、2007年6.35%、2008年6.01%、2009年4.85%（リーマンショックの影響）、2010年6.11%となっており、羨ましい経済成長を遂げています。いまや中国、インドに続くアジアの経済成長国です。これは、石油、石炭、ガス、鉱物、ゴム等、天然資源を豊富に保有することと、2億3,764万人（2010年、中央統計庁）という世界第4位の人口が巨大な国内市場となり内需を支えていることが主な要因となっています。

日本にとってもインドネシアは非常に重要なパートナーです。その一例として自動車を挙げることができます。インドネシア全体での2010年国内販売台数は前年比51.1%増の76万台を超えますが、その95%を日本車が占めています。インドネシアの玄関口であるジャカルタのスカルノ・ハッタ国際空港に到着すると、送迎車、駐車場を埋め尽くす自動車のほとんどが日本車であることから一目瞭然です。また、オートバイに関しては自動車の10倍の販売台数におよび、その98%以上のシェアを日系メーカー4社で占めています。

ジャカルタの交通渋滞にはうんざりですが、上記のように周囲が日本車で埋め尽くされる光景をみると、嬉しいような悲しいような複雑な心境です。

兎にも角にも、元気なインドネシアの様子を岡山県の皆様にお伝えしていきますので、ご期待下さい。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. JC内）概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏 (たけい かずひろ)

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧くださいのうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。